

Q 町内の小中学校施設

A 緊急性、必然性を基に、優先順位をつけて施工している。(藤森教育部長)



▲修繕工事を予定している第二小学校

Q 大規模な改修は、文部科学省や国土交通省の補助金を活用し、維持修繕は、町財政から学校規模、児童・生徒数に応じた予算配分を行っている。

A 予算の確保はできているのか。

Q 日々の学校施設の維持修繕は、各校からの要望聴取、職員の臨場調査等を実施し、緊急性、必然性を基に、優先順位をつけて施工している。

A 中学校クラブハウスに設置している階段など老朽化が激しく早急に対策をしてほしいという声を多数聞くが、町としての考えは、

Q 現在、耐震化の工事が順調に進んでいるが、学校施設の老朽化対策(修繕・維持)は、

A 校舎等の大規模な改修については、平成27年度に耐震化が完了した棟から順次計画し、屋上防水、外壁等の外部や内装、内壁、諸設備等の内部の改修に努める。

Q 町民グラウンド周辺設備の老朽化対策は

A 平成27年度から計画的な改修を進めていく。(三村町長)



▲水はけ機能が低下した町民グラウンド

Q 本施設は供用開始から既に26年が経過し、各種設備の老朽化が懸案となっている。今後は、町民グラウンドの各設備の現状を踏まえたうえで、緊急性、費用対効果を検討し、平成27年度から計画的な改修を進めていく。

A 町民グラウンドとその周辺設備は、老朽化している。グラウンドの水はけ機能の低下や、照明設備、放送設備等に色々と問題が生じているが、町の対応は、



中原裕侑議員

Q 熊野町周辺の里山整備は

A 里山に親んでもらい健康維持へとつながるような里山整備を行っていききたい。(森本建設部長)



整備された土岐城▶

Q 本町では、荒廃する里山の再生を目的に、県の補助金を活用して「森づくり事業」を実施している。これまでに川角地区の三石、萩原地区の土岐城、城之堀地区の城山などの里山整備を行った。里山整備と併せ、遊歩道を整備し、幅広い年代の方に登山を楽しんでもらうことも、健康づくり、健康維持につながるものと考えている。新年度は、新宮地区の竜王山などを整備する予定であり、今後も多くの方に、里山に親んでもらい健康維持へとつながるような里山の整備を行っていききたい。

Q これから3人に1人が65歳以上という超高齢化社会を迎える中で、町民の健康維持、また近年、登山者が増加している状況から、里山や遊歩道の整備に力を入れてはどうか。

教育部門



藤本哲智議員

Q 中学校に学校給食を

A 今後は、様々な情報を収集し研究したい。(藤森教育部長)



小学校のデリバリー給食▶

Q 中学校に給食導入をとの声を受け、平成22年10月に町内4小学校5・6年生とその保護者及び町内2中学校1・2年生とその保護者を対象にアンケートを実施した。教育委員会では、本アンケート調査結果を参考にし、また、家庭弁当によって、保護者が子どもに合った嗜好、量の調節、栄養への配慮を行えることや、保護者が子どもの心身の状態を把握できること、子どもと保護者のコミュニケーションの材料となることなど弁当持参の意義は大きいと考えており、現在は中学校でのデリバリー給食は実施していないが、今後は、様々な情報を収集し研究したいと考えております。

Q デリバリー方式の学校給食を小学校だけでなく、中学校にも導入すべきと考えるが、町の考えは、